

コース別履修モデル〈地域社会研究コース〉

ここでコース別の履修モデルを紹介します。履修計画を立てる参考にしてください。もちろん、興味や希望する進路、また専攻地域や専攻言語によって履修内容は人それぞれです。自分なりの外大生活を組み立ててください。

※モデル内で紹介された授業題目名は 2018 年度から 2024 年度までの授業時間割に基づきます。年度によって、当該授業が開講されない場合や開講学期が異なる場合、題目名が変更される場合もあるので注意しましょう。言語科目と地域基礎科目は専攻地域によって履修方法が異なります。詳細は履修案内等を確認しましょう。教養科目は 1 年次・2 年次にそれぞれ 4~5 コマずつ履修すると良いでしょう。留学は制度によって、在学期間 4 年で卒業できるケースと、そうでないケースがあります。詳細は留学案内を確認しましょう。

地域社会研究 コースの履修モデル

Area Studies

1~2 年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

3~4 年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

1 年生	2 年生				3 年生				4 年生			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
<p>Model 1 北西ヨーロッパ・北アメリカ地域 × 歴史 ヨーロッパの歴史を深く探求したい！</p>	<p>専攻言語 I (英語 I) ショートビジット リーズ大学 (英)</p> <p>プリテン諸島と近世ヨーロッパ 連合王国の近現代史</p> <p>ジェンダーから考える近現代アイルランド史</p> <p>歴史学入門 世界史を開く</p> <p>基礎リテラシー・基礎演習 教養科目</p>	<p>専攻言語 II (英語 II) 教養外国語 (ドイツ語)</p> <p>ジェンダーから読み直すアメリカ史 (1) アメリカ史入門 1 周縁から考えるグローバル・ヒストリー</p> <p>現代史と映像 国際政治学入門</p> <p>歴史資料体論 国際政治理論</p> <p>教養科目</p>	<p>専攻言語 III (英語 III) 教養外国語 (ドイツ語)</p> <p>19・20 世紀の西洋ノスペイン美術史 感情史の理論と実践 ハプスブルク帝国史研究 Iberian Studies</p> <p>西欧現代政治論 ユーロピアと社会契約 歴史から教訓は学べるか</p> <p>留学 ロンドン大学 (英)</p> <p>卒論演習 卒論テーマ～戦間期イギリスの政治と社会～</p>	<p>教養外国語 (スペイン語)</p> <p>歴史映画にみるポーランド近世 近世スペイン美術史 ジェンダーと高等教育 感情史とは何か ヨーロッパ国際関係史</p> <p>進路 出版社</p>								
<p>Model 2 東アジア地域 × 現代社会 経済大国中国のリアルが知りたい！</p>	<p>専攻言語 I (中国語 I) GLIP 英語</p> <p>現代中国の政治・経済・社会 中国の伝統と現代 中国の輪郭を知る</p> <p>地域研究入門 レイニズム・スタディーズ入門</p> <p>基礎リテラシー・基礎演習 教養科目</p>	<p>専攻言語 II (中国語 II) GLIP 英語 ショートビジット 北京語言大学 (中)</p> <p>地域社会と経済生活 ナショナリズムとイスラーム主義 香港と中国の歴史</p> <p>歴史学入門 グローバリストディーズの経済思想史</p> <p>教養科目</p>	<p>専攻言語 III (中国語 III)</p> <p>中台関係論 現代台湾政治 東アジアポピュラー文化の越境移動 現代中国経済論</p> <p>国際金融概論 貿易と直接投資 近代日本の思想とアジア</p> <p>専門演習 [中国・香港の歴史と社会]</p>	<p>教養外国語 (朝鮮語)</p> <p>朝鮮戦争を考える 解放期南北朝鮮の政治と社会 国際経済学 1・2 東アジアの経済発展と開発経済学</p> <p>進路 IT 関連</p>								
<p>Model 3 イベリア・ラテンアメリカ地域 × 女性 途上国の女性の地位向上のために働きたい！</p>	<p>専攻言語 I (スペイン語 I) GLIP 英語</p> <p>ラテンアメリカ政治経済入門 ブラジル地域研究入門 美術・建築からみるスペイン史</p> <p>地域研究入門 ジェンダー論入門</p> <p>基礎リテラシー・基礎演習 教養科目</p>	<p>専攻言語 II (スペイン語 II) GLIP 英語</p> <p>ジェンダーから読み直すアメリカ史 (1) 周縁から考えるグローバル・ヒストリー ジェンダー史概論</p> <p>現代史と映像 クワイ・スタディーズ</p> <p>法学</p> <p>教養科目</p>	<p>専攻言語 III (スペイン語 III)</p> <p>伝統とともに今を生きる先住民民族マヤ ブラジルの人と社会 国際社会の中のブラジル 近現代ベトナムの性と政治</p> <p>国際法概論 Gender and Globalization ジェンダーとキャリア形成の国際比較</p> <p>留学 メキシコ国立大学 (墨)</p> <p>専門演習 [アメリカ地域研究演習]</p>	<p>教養外国語 (ポルトガル語)</p> <p>ジェンダーと高等教育 カナダの歴史 アフリカ人類学 国際法 実務的側面から見た国際機関</p> <p>進路 海外大学院</p>								

● は地域基礎 (必修)、● は地域社会研究コース、● は現代世界論コース、● は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

履修計画を立てるときのポイント

1. 時間割を詰め込みすぎない！ (大学の授業は予習・復習・課題がもれなくついてきます。特にアクティブラーニングは提出時期が重なることが多いので要注意！)
2. 進級に関わる必修科目・卒業所要単位数に注意しよう！ (専攻地域・専攻言語によって異なります。入学年度の履修案内を熟読しよう。)
3. 導入科目は 3 コースからバランスよく学ぼう。
4. 教養外国語は 2 年生からの履修がおすすめ (新しい外国語を複数学ぶのは大変…まずは専攻言語にしっかり取り組もう。)
5. シラバス検索の「キーワード検索」を活用しよう。
6. 長期的な履修計画を立てよう。